

事務事業名	農業委員選挙人名簿登載申請事業		所属部局	農業委員会		単位番号	11005				
			所属課室	農業委員会事務局		課長名	河野 敏直				
			所属担当	総務担当		担当者名	河野 慎介				
基本政策	基本計画体系	Ⅱ にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
				01	一般	06	01	01	02	00	8
政策	07	農林水産業の振興	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業							
施策	12	生産を支える基盤の整備充実		☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業							
				☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業							
				☐ 義務化されている協議会等の負担金							
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 年度） ☐ 期間限定複数年度（ 年度）		法令根拠	農業委員会等に関する法律							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 毎年調整される農業委員選挙人名簿の申請書の受理及び審査を行い、選挙管理委員会へ意見を付して送付する。			事業費の主な内訳（22年度）							
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
				消耗品費		4					
				印刷製本費		129					
				計						133	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	・現選挙人登録者(世帯)へ申請書等を郵送。 ・組回覧による周知。(申請忘れ、新たに資格を得た方)
23年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
選挙権を有する者 ・市内に住所を有する者 ・年齢が20歳以上の者 ・10a以上の農地を耕作し、年間60日以上農業を営む者及び同居の親族	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
選挙管理委員会において農業委員選挙人名簿の調整が的確に行える状態にする。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
公正な選挙を行うことができる。	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 選挙人名簿登録該当世帯数	世帯
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 選挙人名簿登載者数	人
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 選挙人名簿の登録に関する選管への質疑件数	件
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 選挙結果に対する異議申出件数	件
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	80	133	135	135	135	135	
	事業費計 (A)			千円	80	133	135	135	135	135	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	308	308	308	308	308	308	308	
		人件費計 (B)	千円	1,374	1,374	1,220	1,220	1,220	1,220	1,220	0
		(A)+(B)			千円	1,454	1,507	1,355	1,355	1,355	1,355
活動指標		アイ	世帯	2,821.0	2,592.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0		
		ウ									
対象指標		アイ	人	4,499.0	4,113.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0		
		ウ									
成果指標		アイ	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		ウ									
上位成果指標		アイ	件	0.0			0.0				
		ウ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和26年3月31日法律第88号 農業委員会等に関する法律
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	農業従事者の高齢化や後継者不足により、地域の農業を担うものが年々減少している。今後も同様な傾向が続くと思われる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	市民より個人情報に係る申請書を組長等が回収することについて、改善要望があった。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	申請書の配布、とりまとめを自治会に依頼していたが、該当世帯に返信用封筒をつけて直送している。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	農業委員選挙人名簿登載申請事業	所属部	農業委員会	所属課	農業委員会事務局
-------	-----------------	-----	-------	-----	----------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 農業委員は市町村に置かれる行政委員であり、選挙によって選出されるので有権者の管理は必要である。	
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 法令に基づき行っている事務であり妥当である。	
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 法令に基づき行っている事務であり妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 適正に管理執行されている。	
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 法令に基づき行っている事務であるので廃止できない。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 法令に基づき行っている事務であるので廃止できない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の事業費なので削減できない。	
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の人件費なので削減できない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 法令に基づき行っている事務であり公平である。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	農業委員の選挙権の有無を審査する重要な事務事業であり、公正な選挙を行ううえで必要不可欠である。 農業委員会法で規定されている事務であり、選挙管理委員会と連絡をとりあい継続していく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					